



平成29年12月15日発行
No.88

社協だより みふね

社会福祉法人
御船町社会福祉協議会
TEL 282-0785
FAX 282-7895
御船町御船1001-1

熊本地震
最秋章

臨時開設「災害ボランティアセンター」
～中原団地～



10月14日(土)、15日(日)、24日(火)、25日(水)の4日間、臨時の災害ボランティアセンター活動を行い、町営中原団地の住宅から家具家電などの搬出に、延べ38名のボランティアが汗を流しました。

ボランティアの多くは県外から来られている方々です。「御船町は第2のふる里」との熱い想いでこれまでも長期にわたりご支援をいただきました。

45件の依頼に対応し、住民の方からも感謝の声が寄せられました。

ボランティアの皆様、本当にありがとうございました！

～ ボランティアスクール ～

8月1日 午前 七滝中央小 13名 (七滝中央小多目的室)

午後 御船・木倉・小坂・高木・滝尾小 36名 (カルチャーセンターホワイエ)

毎年夏休み期間中に実施しているボランティアスクールも、今年で29回目を迎えました。昨年は地震の影響で実施できませんでしたが、今年は昨年の教訓を踏まえ防災に焦点を合わせたスクールを企画しました。



講師のNPO法人ソナエトコ水野さん
(黄色のビブス)



学校内にある防災に役立つ設備を
地図に記していく

児童の感想

- 消火器の場所をきちんと覚えておかなければいけないと思った。
- 非常口を確認してみたら、思っていたよりたくさんあって便利だと思った。
- もっと自分やみんなの命を大切にしたいと思った。

～ ワークキャンプ ～

8月2日 御船高校生 8名 (グリーンヒルみふね)

老人総合福祉施設でデイサービスの利用者の方との交流を楽しみました。



利用者の皆さんと一緒にボール体操



色紙を切って貼り絵に挑戦

生徒の声

- 高齢者の方が、思っていたより生き生きしていて元気で明るい印象を受けた。
- 今日体験したことを、進路を考える時活かしていきたい。
- 学んだことを、今後高齢者の方との接し方に活かしていきたい。

こんにちは 地域支え合いセンターです

地域支え合いセンターは社会福祉協議会が町から受託した事業です

センターが開所して1年が経過しました。

現在は訪問や交流会支援のほか、住宅金融支援機構の協力のもと住宅再建に向けた説明会や個別相談会を開催しています。相談後は「先が見えた」「悩むより相談してよかった」などの声が聞かれています。



仮設団地内の取り組み

ふれあい広場第1仮設

ふれあい第1仮設は高齢の一人暮らしの方が多く、安否確認のために平日の朝にラジオ体操を行っています。ラジオ体操に参加されない一人暮らしの方には必ず「声かけ隊」が訪問されています。またリサイクルの日には一輪車で回収するなど、助け合いが盛んに行われています。



ラジオ体操



子ども達も参加



声かけ隊



ふれあい第1仮設担当のくまもと健康支援研究所スタッフ
(社協より再委託)

健康管理、緊急時の備え (独居高齢者を中心に全仮設で行っています)



温湿度計



緊急通報システム (県の事業)



緊急安心カード

みんなの交流会

センターでは仮設団地、みなし仮設に入居されている方が、元の地区に戻りたいという気持ちを支えるために地域と協力して交流会を応援しています。



陣区交流会

～お久しぶりです
おかえりなさい～

8月27日に陣区多目的集会場で開催。約150名が参加され、再会を喜びあいました。会場の飾り付けや昼食は地元のサロンや役員、有志が準備し、心温まる交流会となりました。



第9回 高木ふれあい祭り

テーマ『復興応援』

～頑張ろう高木、笑って復興～ 武原凛さん(小5)

11月12日に高木小体育館で開催。約400名が参加されました。地域防災を考えるパネルディスカッションでは4人のパネリストが体験発表し「日頃の挨拶」「消防団への入会」「皆が役割を持つ」など今後の課題があげられました。



七滝仮設交流会



落合仮設夏祭り



滝川仮設「ビバ滝川」

仮設団地でボランティアをされる方へ

御船町社会福祉協議会のホームページを開いてボランティア規則をお読みにになりお申し込みください。

- ① 申請書をダウンロードしセンターへ申し込み
- ② センターより決定通知
- ③ ボランティア活動
- ④ センターへ報告書提出

※「みんなの家」の借用を希望される方は支え合いセンターまでご連絡ください。(☎282-2886) (FAX282-2887)



甘木仮設交流会

九州北部豪雨 職員派遣

7月5日から6日にかけて福岡県と大分県で発生した九州北部豪雨は、甚大な被害をもたらしました。被災された方々とそのご家族の皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

御船町社協からは2名の職員が派遣され、朝倉市災害ボランティアセンターで運営支援を行いました。

中島直子 8月8日～10日（第5クール）

宮崎正雄 8月16日～18日（第7クール）

地震と土砂災害では活動内容は異なりますが、御船町災害ボランティアセンターでの活動経験がとても役に立ちました。



露出した山肌



土砂が襲い被災した家屋

在宅介護者のつどい

家族の介護をされている方を対象に日頃の疲れをとって頂くリフレッシュ事業として毎年開催しています。

今年は玉名へ「みかん狩り」に行きみんなで楽しみました。



シリーズ 地域のか①

「ウーマンサークルなでしこ会」

屋敷地区（上野）の若妻の集いの場として15年前に始まりました。

活動は地域の季節行事や薬師堂のお守りをされています。

11月10日（金）は上野保育園児や地域の方も巻き込んで「健康感謝祭」を開催。

代表の明月ヤヨイさん（写真中央）は「たくさんの方に集ってもらい感謝している。これからも地域のためにできることを頑張りたい」と抱負を述べられました。



健康感謝祭の様子

＋ 平成29年度 日本赤十字社会費は2,940,500円でした。

有功章会員	1名	300,000円
特別会員	179名	358,000円
一般会員	4,498名	2,252,500円
法人会員	3件	30,000円

- ・丸山商店 様
- ・熊本第一信用金庫 様
- ・第一事務機 様



ご協力ありがとうございました

介護予防・生活支援 サポーター養成講座 終了

8月から9月にかけて、カルチャーセンターで4日間の講座を受講され、28名の新サポーターが誕生しました。

現在、各地区の地域サロンや元気クラブで活動されています。



第10回

火の国ボランティア フェスティバル天草

11月19日、火の国ボランティアフェスティバルが天草市で開催されました。

来年9月には、上益城・熊本市が担当して開催します。

御船町ボランティア連絡協議会役員と社協職員で天草大会を視察し、天草圏域でのボランティアの発表に学びと交流を深めることができました。



引継式 来年は上益城・熊本市です。

法律相談のお知らせ

場 所……御船町コミュニティーセンター
ひばり荘(社協事務局)

施 設
利用料…… 一人 110円

日 程……12月20日、1月17日
2月21日(毎月第3水曜日)

時 間……13:00~16:00



※相談は無料、秘密は厳守します。
困りごとや悩みごと、何でもご相談ください。
相談員は弁護士・人権擁護委員・行政相談員です。

当日のみ電話での受付も行います。

電話 282-0785

受付時間は午前8:30からです。
それ以外の申込みについてはお受けできません
ので、ご了承ください。

あなたの地区の ふれあいサロン

サロンは地域のつどいの場で、どなたでも参加できます。

ぜひ、近くのサロンにお立ち寄りください。



わかみやサロン(上辺田見)

環境美化活動

10月21日、御船町ボランティア連絡協議会とシルバー人材センター合同で、美化活動を行いました。

シンボルロード沿いを中心に草取りを行い、とてもきれいになりました。

小雨の降る中、本当にありがとうございました!

